

Only One

富澤ファーム



とみざわたいし

富澤剛さんは、東京都三鷹市で明治時代から続いている「富澤ファーム」の4代目。堆肥農法による土作りや、天敵利用など、地域資源活用や環境に配慮した農業を行っています。

また、こども食堂への支援やコロナ禍におけるエッセンシャルワーカーの応援、イベントや体験農園を積極的に受け入れ、地域社会に向け農園を開いています。その根底にあるのは人との繋がりを大切にし、農で人を笑顔にしたいという思いです。



富澤ファームの
広さは80アール

農で人を笑顔にする



4代目の富澤剛さん(左)と
スタッフの堀李生さん(右)



江戸東京野菜の大蔵大根を持つ富澤さん

富澤さんは、栄養士を目指す学生が多い短期大学で、非常勤講師として農場現場実習やフードプロデュース等について教えています。堀さんは、その時の教え子で、現在は野菜農家を目指して奮闘中。テキパキと働く姿がキラリと光っていました。

健康の秘訣は、発酵食品を食べること！
食べ歩きが好きで、富澤ファームの野菜を納品しているレストランへ行くことが楽しみです！

人との繋がりと地域の人のコミュニケーションを大事にし、楽しいコミュニティを作りたいですね。
また、農業に興味がある人を積極的に受け入れて、作る喜び、収穫する喜び、食べる喜びを知ってもらいたいです。

「農作業」から「農業経営者」「実業家」を目指し、人を育てることに力も注いでいきたいです。

たまてばこ

多摩地域の魅力を訪ねる健康さんぽ

文責：編集部

取材協力・写真提供（一部）：富澤ファーム

vol.11 三鷹市



短期大学の生徒さんと
富澤さん

土づくりストーリー

富澤ファームでは、栽培終了したナス枝を粉碎した屑の中に生ゴミ（近所の飲食店から回収）を投入。発酵・加熱し、土に戻しています。



『持続的農業の土づくり(農Bizムック)』(イカロス出版)



多摩の特色ある
土づくり農家として、
富澤ファームが
紹介されています！

富澤ファームのこだわりを紹介♪

① 落葉堆肥農法

通常、コストをかけて廃棄処分されてしまう国際基督教大学のキャンパスの落ち葉や東京農工大学馬術部の馬糞を無償で回収して堆肥にし、資源の有効活用をしています。

② 農薬をあまり使わない環境に配慮した農法

農薬で虫を全て駆除するのではなく、特定の虫にだけに作用するものを使い、うまく天敵を利用することで、環境に配慮した農業を行っています。

③ 農地を利用した交流

農業に関心のある方々との交流を大切にし、収穫体験や援農などを積極的に受け入れて、食・農を通じて人を笑顔にしています。

④ 食育

学校給食や保育園での体験農園など、子どもたちが農に触れる機会を提供し、農の楽しさや野菜の美味しさを知ってもらえるように努めています。

回収した落葉の
温度管理をする富澤さん



富澤ファーム

◆所在地：東京都三鷹市北野3-10-10

◆アクセス：

JR線「吉祥寺駅」または京王線「千歳烏山駅」より小田急バス「天神前」バス停下車徒歩5分

Instagram



利便性の高い都市機能と、豊かな自然や文化が融和するまち

三鷹市は、新宿まで20分弱と都心に近いですが、公園や畑などの自然も豊かにあり、都会と田園の両方の魅力を楽しむことができます。

また、武蔵野台地の外れには、国立天文台や三鷹市 星と森と絵本の家があり、都会の喧騒から解放された安らぎエリアが広がっています。



子供から大人まで楽しめる
三鷹の森ジブリ美術館



COURSE

- ①「天文台前」バス停 ➡ ②国立天文台 三鷹（第一赤道儀室・太陽系ウォーク・天文台歴史館・
しごぎ 子午儀資料館・6メートル ミリ波電波望遠鏡） ➡ ③三鷹市 星と森と絵本の家 ➡ ④「天文台前」バス停
鉄道の駅から「天文台前」バス停へ…JR線「三鷹駅」から小田急バス、JR線「武蔵境駅」から小田急バス、京王線「調布駅」から小田急バス・京王バスを利用します

天文台のあるまち三鷹

★ 国立天文台 三鷹

1914（大正3）年に建てられた、天文学を研究する日本の研究所・大学の共同利用機関。緑が多く、静かな構内には、大正期の建物が点在し、ゆっくりと散策できます。見学の際は、音声ガイドを利用するとより楽しむことができます。



第一赤道儀室（国登録有形文化財）

国立天文台 三鷹の中で一番古い建物。口径20センチメートルの屈折望遠鏡があり、太陽黒点の投影スケッチ観測や太陽全面の写真撮影が行われていました。



太陽系ウォーク

太陽系の広がりを感じさせる展示。太陽系の距離を140億分の1、天体サイズを14億分の1に縮めています。

惑星の特徴が記載されているパネル



太陽から土星までの距離は14億kmですが、ここではたった100m

天文台歴史館（国登録有形文化財）

構内で一番大きなドーム。星の位置測定を行ってきた口径65センチメートルの屈折望遠鏡を展示しています。



子午儀資料館（国登録有形文化財）

資料館中央にあるレプソルド子午儀は、天文台が港区麻布にあった頃は、時刻の決定と地球上の位置の測量に使われていました。三鷹移転後は、月・惑星等の決定に使用されました。



6メートル ミリ波電波望遠鏡

この望遠鏡の登場により、当時宇宙での存在が確認されていなかった分子が発見されました。日本の宇宙電波天文学の出発点ともいわれています。



温かくほっこりとした気持ちになれる空間

★ 三鷹市 星と森と絵本の家

主に子どもたちの文化的活動を育み、星や自然とふれあえる施設となっており、大正時代の歴史を五感で感じることができます。そこだけ時間が止まったような、静かな空間には、絵本がたくさん展示されています。



大正時代の官舎を保存活用した建物



絵本をゆっくり楽しむことができる空間



※各施設の開館状況等は、ホームページ等でご確認ください。